

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		国民健康保険予算編成事務事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	鍛野 文昭
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	谷 和浩
	基本事業	46	保険医療制度の健全な運営			所属班	国保年金班	(内線)	2136
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	国民健康保険法	
		国保	1	1	1	10393 他		成果優先度評価結果	: ⑫
								コスト削減優先度評価結果	: -
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	・国民健康保険運営に必要な額のうち拠出金及びその他の予算編成及び執行管理事務。 ・国民健康保険制度の開始により。 ・医療制度改革により20年度から大幅に制度が変わり、75歳以上が後期高齢者医療に移行した。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	必要額を積算し予算編成をし、支払い等の執行管理をする。
【主な予算費目】	01-01-01一般管理費、03-01-01後期高齢者支援金、03-01-02後期高齢者関係事務費拠出金、04-01-01前期高齢者納付金、04-01-02前期高齢者関係事務費拠出金、05-01-01老人保健医療費拠出金、05-01-02老人保健事務費拠出金、06-01-01介護納付金、07-01-01高額医療費共同事業拠出金、07-01-02その他共同事業拠出金、07-01-03保険財政共同安定化事業拠出金、08-01-01保健衛生普及費、09-01-01財政調整基金積立金、11諸支支出金
【意見や要望】	国民健康保険制度で定められた拠出金等である。近年の医療費の増加に伴い国保財政が非常に厳しい状況となり、基金も取り崩してしまった。平成24年度当初予算において国保税の増額と一般会計からの法定外繰入を議会に提案したが、議会から国保税の収納率向上や健康づくり施策の推進に努めることなどを付帯決議として議決された。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
【前年度内容】25年度予算執行管理及び26年度予算編成作業	26年度予算執行管理及び27年度予算編成作業	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由	
→ ア: 予算額	千円	平成27年度から、高額共同事業が制度改正により、従来30万円以上が対象であったものが、1円以上に改正になったことにより、大幅に予算総額が増加することとなった。
イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
国民健康保険特別会計	→ ア: 歳出決算額	千円
	イ: 年度平均被保険者数	人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
国民健康保険制度の運営ができる。	→ ア: 単年度収支	千円
	イ:	
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
単年度収支額が国民健康保険制度の適正な運営ができているかを計る指標となる。		全体計画
		~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込
①活動指標	ア	千円	6,062,304	6,532,642	6,176,800	0	6,260,000	6,353,900	6,455,000	6,355,000
	イ									
②対象指標	ア	千円	5,955,294	0	6,176,800	0	6,260,000	6,353,900	6,455,000	0
	イ	人	13,799	13,656	13,810	0	13,790	13,770	13,750	13,730
③成果指標	ア	千円	91,824	148,876	10,000	0	10,000	10,000	10,000	0
	イ									
投資	財源内訳	国庫支出金	千円	432,187	427,253	456,455		476,882	480,000	
		都道府県支出金	千円	100,767	107,078	130,263		141,934	120,000	
		地方債	千円							
		その他	千円	803,113	818,746	814,499		1,561,100	790,000	
		繰入金	千円	53,659	172,187	159,682		221,714	210,000	
		一般財源	千円	388,536	470,954	390,683		343,007	327,000	
入費	量	(A)事業費計	千円	1,778,262	1,996,218	1,951,582	0	2,744,637	1,927,000	0
		(A)のうち指定経費	千円	1,778,262	1,996,218	1,915,008	0	2,699,507	1,927,000	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	人	3	4	4	5	4	4	0
人件費	量	延べ業務時間	時間	2,330	2,663	2,660	2,428	2,660	0	0
		(B)人件費計	千円	9,485	10,609	10,597	9,673	10,597	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	1,787,747	2,006,827	1,962,179	9,673	2,755,234	1,927,000	0

事務事業名	国民健康保険予算編成事務事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	----------------	-----	-------	-----	----------

## 2 評価の部（SEE）

\*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 平成24年度から医療費分国保税の増額及び一般会計からの法定外繰入を実施しており、達成できる見込みである。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 適正な税収を確保し健全運営を行う。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 国民健康保険法で定められている。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】 【前年度内容】 必要額のみ計上しているため削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】 【前年度内容】 人件費はほとんどかかっていないため削減の余地なし。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 【前年度内容】 【前年度内容】 国民健康保険制度上のことであり公平・公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 【前年度内容】 【前年度内容】 行政が行う範囲である。

## 3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

【前年度内容】 【前年度内容】 近年の国保医療給付費及び後期高齢者支援金、介護納付金の増加に伴い平成23年度で国保財政調整基金が底をついてしまった。平成24年度から医療分の国保税の増額と一般会計からの法定外繰入を行っており、平成25年度も法定外繰入を計上している。

## 4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善）  <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善）  <input type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p>																						